

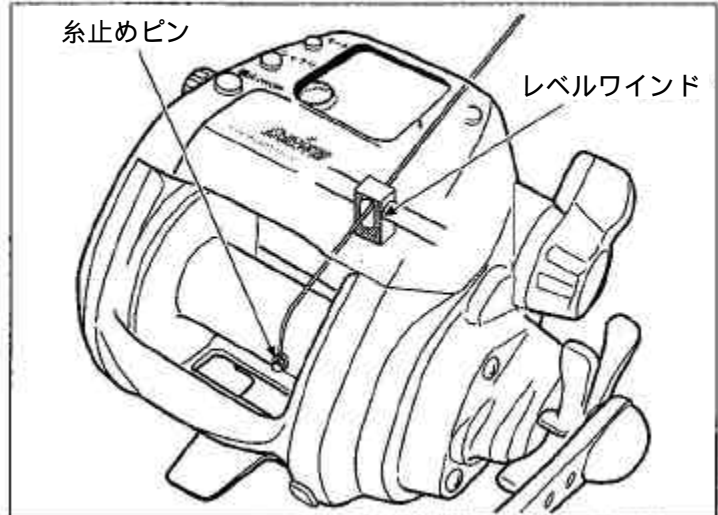
シーボーク Z500FT・Z500T

まず道糸をリールに巻きます。

超音波センサー搭載だから、道糸を巻くだけでOK。しかも、シーボークZ500FT・Z500Tには、以下のような便利な機能もついています。

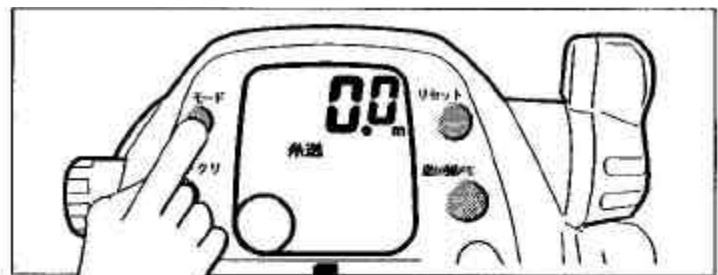
道糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。

付属の糸通しピンを使うとかんたんに通せます。スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。



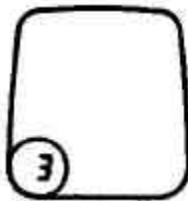
通电してから、(モード)スイッチを2秒以上押してください。

表示が(1.0m)以上ですと作動しません。



「糸巻」画面になったら、パワーレバーをMAXの位置まで倒して道糸を巻きます。

フィンガーガードに糸が当たると、リールが傷つくことがあります。糸が当たらないようご注意ください。

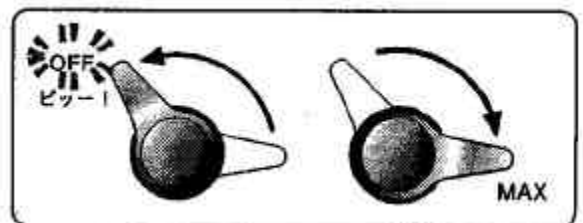
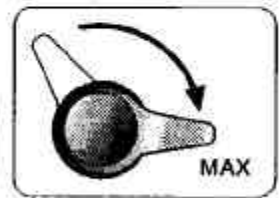


(テンション表示3～4の強さが適当です)
テンションが強すぎると止まらないことがあります。

巻き込み防止のため自動的に止まります。

(6号の場合)

残りの糸を巻く



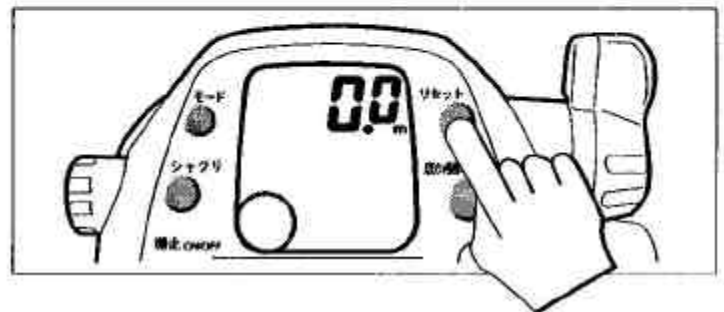
レバーを1度OFFの位置まで戻し(アラーム音)、再度レバーを、MAXまで倒して(アラーム音)、残りの糸を巻いてください。

巻き終わったらレバーをOFFの位置
まで戻します。(アラーム音)



リセット スイッチを2秒以上押
して、「水深」画面に戻ります。

巻き込み防止のため標準巻糸量(ブライト)の約5%
手前で巻き上げが自動的に停止します。(テンショ
ンによって多少前後することがあります)



標準巻糸量とは

(ブライト5号 - 400m、6号 - 300m、8号 - 200mの場合)



・糸を全部巻き込まないようにしてください。
巻き込みますと、レベルウィンドとの位置が
ズれてしまい、仕掛け落ちが遅くなる原因に
なります。